

工事で撤去予定の桜

住民らが挿し木計画

クローン育てて後世へ

尾崎の市道拡幅整備に伴って撤去予定の桜を挿し木にして残そうと、地元まちづくりグループ「尾崎のまちを考える会」（目木敏明会長）が計画を立てている。挿し木苗を育てて別の公園や公共施設に移植するプランで

って愛着のある桜を後生に残したい」と話している。

赤穂八幡宮の向かいにある宮前児童遊園。公園が整備された昭和57年前後に植樹されたのとみられる高さ8メートルほどのソメイヨシノが3本植わっている。市に

線の拡幅で公園の一部が車道や歩道になることから3本のうち道路寄りの2本を伐採せざるを得ず、「今年夏ごろに除去する予定」だという。

近所で生まれ育った同会理事の小國信一さん(5)は子どもの頃から

次々週は休刊

本紙は土曜日発行ですが、3月9日は休刊します。

赤穂民報社

かれることを知り、「移植できないものか」と同級生で造園業を営む頭巾喜和さん(51)に相談した。頭巾さんは「すでに樹齢を重ねているので移植は難しいけれど、挿し木にして増やすことはできる」と提案。目木会長も賛同し、尾崎地区まづくり連絡協議会のバックアップも得られ、見通しになった。挿し木は増やしたい植物の若い枝を切り取り、土に挿して増やす方法。うまくいけば、親木と同じ性質を持った、いわゆる「クローン」を育てることができる。

来月上旬にも頭巾さんが挿し木に適した枝を採取し、ポット鉢で育苗を始める。順調に育てば秋に植木鉢に植え替え。さらに2〜3年後に人の背丈ほどま

て成長した段階で地面に移植できるといふ。「伐採されてしまつて聞いて悲しい気持ちになつていましたが、未来につながる可能性に希望が持てました」と小國さん。頭巾さんは「自分にとっても愛着のある桜なので、うまくいくようにしっかり作業したい」と意気込んでいる。(写真上は市道拡幅整備に伴つ伐採を前に挿し木が計画されているソメイヨシノ。同下は満開の様子)

パワーハウス赤穂よりお知らせ

e+’s エアロビクス!

**参加無料!
申込不要!**

～簡単ステップでエクササイズ♪～
フィットネスインストラクター：菊田 謙一

時：2月27日（水）11：00～11：30
タオル、中履き靴、お飲み物をお持ち下さい。
動きやすい服装でお越し下さい。

☆ スポーツをはじめよう! 新規会員登録集中 ☆

金案内	入会金：	2,000円	営業時間	平	日 9:00～21:00
	会費：	一般 6,000円		土・日・祝	9:00～18:00
		学生 4,000円			
	一日体験：	1,500円			

🌸 こども体操教室 生徒募集中! 🌸

動がさらに楽しくなる
エアトランポリンを
新規導入しました!!

曜 日	時 間	年 齢
木	16:30～17:30	3歳～小学校低学年
土	15:00～16:00	小学生

1日体験（1,000円）行っています! **要予約**

恵市加里屋字新町 99 赤穂はくほう会病院 1F
舌習慣病管理センター パワーハウス赤穂 TEL.45-1116

医療法人 伯風会
赤穂中央病院
赤穂はくほう会病院

予約専用 ☎ 0120-891-700

TEL 0791-45-1111 (代)

<http://www.hakuho.or.jp>

